

「wave」

チーム名：クローバー

エントリー番号：44

要旨

私たちが提案する「wave」はスマートフォン向けの、音楽を通してより価値観が合う人とマッチングし、人との関係性を深め繋がる事が出来るアプリです。プレイリストから好みの合う人を探してくれるアルゴリズムによって、気が合う人を見つけ出し、マッチングさせます。学校や社会などで知っている友人から、ネット上で知らない人まで、一対一またはコミュニティで人と繋がることができます。アプリの利用者が増加することにつれて、生活満足度の向上やコミュニティの活性化等、ユーザにもたらす効果が期待されます。

背景

・「しきる」の理解

私たちは「しきる」という言葉を人と人をつなぐものとして捉え、さらに一つずつの文字に意味を持たせることによって深く捉えようと考えました。しきるの「し」は歌詞の「詞」、「き」は心の状態を表す「気」、「る」は流れるという意味を持つ「流」と考え、「しきる」を「詞気流」とした事で、音楽によって人に気持ちを伝える事と捉え、実現できるソフトウェアを提案いたします。詞において歌詞という言葉に着目した理由は、感動を受ける言葉の種類は音楽の意味の詞だけでなくたくさんありますが、言葉を楽しむという観点から音楽はほとんどすべての人が日常生活で触れるものであり、人と繋がりたいと感じる人において重要な役割を果たすと考えたからです。



・「しきる」を取り巻く現状

音楽によって人に気持ちを伝える事に必要な現状はどのようなものがあるかを考えるべく、

①人が関わる音楽 ②人が人との関係性を持つ
という視点で現状を分析いたしました。

① 音楽を通じた感情の共有の可能性

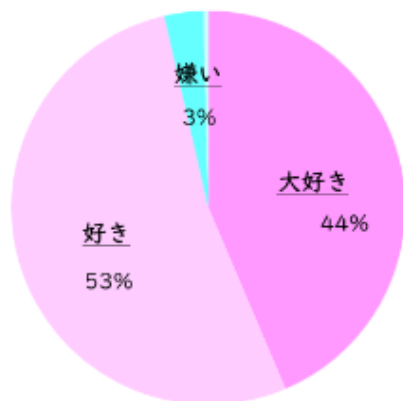
人が関わる音楽という視点からは、一つ目に音楽が殆どすべての人に愛されているものである事、二つ目に音楽が人と共感をしあうために重要な役割を果たしているものである事が分かります。

この事から音楽を通じた感情の共有が可能であると言えます。また音楽というものは人において一種の趣味のようなものであり、趣味が合う人と人がつながりたいという感情を持っていると考えられます。

② 多くの人が人との関係性を求めている可能性

人が人との関係性を持つという視点からは、現状に人との関係性を求めている人が多くいる事が分かります。その背景の一つとして、2020年に新型コロナウイルスが流行するようになったという原因もあり、そのことで今まで通りに人と関わるという事が出来なくなり以前よりも孤独を感じるようになったと考えられます。

👍 音楽を聴くのは好き？



ハピ研より

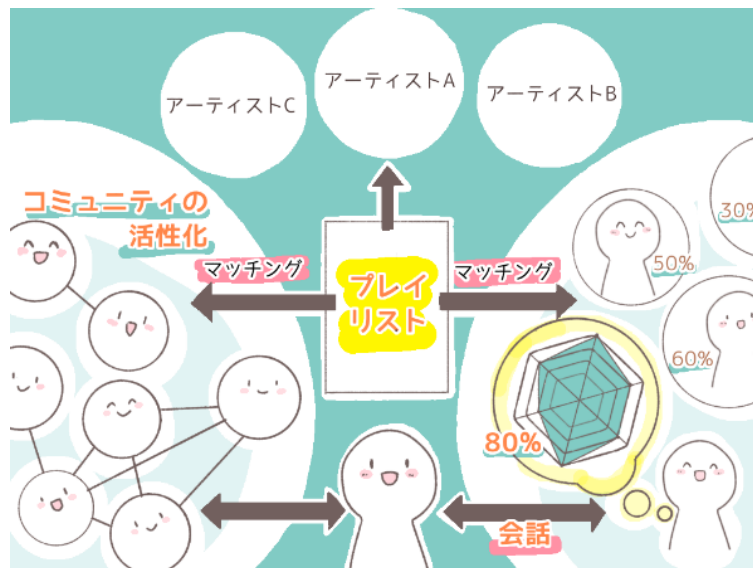
👍 共感しやすい趣味



何でも調査団より

目的

音楽によって人に気持ちを伝えるという観点から、アプリ「wave」では音楽に通してより価値観が合う人とマッチングし、人との関係性を深め繋がる事を目的としています。ユーザーが登録する音楽のプレイリストの分析から人との繋がりを実現します。繋がり方は様々で、学校や会社など知っている友人、仲間と実現する一対一やコミュニティでの繋がり、そしてネット上で知らない人と実現する一対一やコミュニティでの繋がりです。



システム内容

「wave」は、音楽に通してより価値観が合う人とマッチングし、人との関係性を深め繋がる事を目的とするスマートフォン向けのアプリとなっております。想定するシステム内容は大きく

◆ マッチング機能

◆ トーク機能

の二つに分かれています。

◆ マッチング機能

マッチング機能ではこのアプリのユーザが、ユーザが持つそれぞれのプレイリストからよりアプリが趣味や価値観が合う人を探し出し、人と繋がる事が出来るように働きかけます。またマッチングの詳細の画面ではプレイリストに登録されている曲の歌詞や曲調、ジャンルからアルゴリズムによって価値観を分析しマッチング率において詳しく説明を行います。



トップ画面



マッチング画面①

◆ トーク機能

トーク画面では、学校や会社など知っている友人、仲間と実現する一対一やコミュニティ、そしてネット上で知らない人と実現する一対一やコミュニティとトークする事ができ多様な繋がり方を実現する事が出来ます。



トーク画面①



トーク画面②



トーク画面③

使用例と実現できる内容

「wave」を使用するという想定のもと、様々な思いで「人と関わりたい」と希望するユーザーとその要望を軸にアプリとしての応える使用例や実現可能な事についてまとめます。

・ターゲット①



Aさん

知らない人に自分の事を知ってほしい。
本当の自分を出してもっと深く関わりたい。

使用例 → 一対一で実現するプライベートトーク

音楽のマッチング率が高く、ネット上の自分の事を知らない人とつながる事によって、新たに自身の交流の場を広げる事が出来ます。音楽の趣味が合う即ち価値観の合う人とより深い交流を実現する事が出来ます。

・ターゲット②



Bさん

職場で人同士のつながりを結束させて、
環境をよりよくしたい。

使用例 → コミュニティで実現するプライベートトーク

コミュニティでつながる事が出来るトークルームを使う事によって音楽を通して会話を楽しむ事が出来ます。あまり話した事がなかった人とも音楽の共通の価値観をマッチングによって探し出す事が出来ます。

・ターゲット③



Cさん

アーティストのファンのコミュニティで話したい。
新しい音楽の趣味を開拓したい。

使用例 → コミュニティで実現するアーティストトーク

アーティストのファンのコミュニティでつながる事が出来るトークルームを使う事によってアーティストを好きなもの同士の会話を楽しむ事が出来ます。またその場面で、新しい音楽の趣味を開拓する事が出来る可能性があります。

効果

このアプリを使用するユーザが増える事によってユーザにもたらす効果や社会にもたらす効果大きく分けて二つあると考えました。

① 生活満足度の向上

価値観の合う友達が出来事によってユーザの生活満足度が向上し、自分自身に自信を持ちやすくする事ができます。また自分と似ている人との関わりの中で、自分の事を深く知る事が可能です。これらの事から自身の将来性の見通しをしやすくしたり新たな挑戦を支えたりする事も目標にし、社会貢献を狙いにします。

② コミュニティの活性化

コミュニティが活性化することによってより深い関係性を構築しやすくなることが出来ます。会社を例にとると、業績の上昇を狙う事ができ、また小規模のコミュニティでも活性化を多数が実現する事で大きな意味での社会の活性化にもつながると考えます。

参考文献

・ハピ研、2012/04/09、「音楽は好きですか?」、Asahi アサヒホールディングス、
(<https://www.asahigroup-holdings.com/company/research/hapiken/maian/bn/201202/00409/> 、
2022/08/17)

・何でも調査団より、2019/02/15、「興味のある趣味の集まり」、@nifty ニュース、
(https://chosa.nifty.com/hobby/chosa_report_A20190215/2/index.html 、2022/08/17)